

研修目的

全身麻酔管理を通して周術期の生理・薬理・病態生理を学ぶとともに全身麻酔に必要な基本手技を習得する。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）
 - ・手術を受ける患者の安全と安心に対する責任感および高い倫理意識をもって業務にあたることができる。
- B. 資質・能力
 - ・麻酔器によるバッグマスク換気ができる。
 - ・麻酔器の構造を理解でき、その使用法を習得できる。
 - ・気管挿管ができる。
 - ・末梢静脈ラインを確保できる。
 - ・経鼻胃管の挿入ができる。
- C. 基本的診療業務
 - ・生体情報モニターで患者のバイタルサインの監視ができる。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）
 - ・患者に応じた周術期管理の目標を立案できる。
- B. 資質・能力
 - ・Aラインを確保できる。
 - ・硬膜外カテーテルを挿入できる。
 - ・脊髄くも膜下麻酔ができる。
 - ・超音波ガイド下末梢神経ブロック (Plan A) ができる。
 - ・CVカテーテルが挿入できる。
- C. 基本的診療業務
 - ・基本的な呼吸管理ができる。
 - ・基本的な循環管理、輸液管理ができる。
 - ・簡単な麻酔深度の管理ができる。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

- ・症例毎に指導医と麻酔管理を担当する。
- ・ローテーション終了時に研修内容を振り返る。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:00-8:30 術後回診	担当症例の麻酔管理	翌日の症例を指導医と カンファレンス
～	8:30-9:00 術前準備		
金	9:00-担当症例の麻酔管理		

指導責任者および指導医

指導責任者： 黒澤 伸
指導医： 黒澤 伸
長屋 慶
吉田 明子
伊藤 洋介
亀山 恵理

学会発表・論文作成に対する指導体制

適当な症例報告などがあれば発表する。指導医が文献検索、スライド作成、プレゼンテーションなど責任を持って指導する。